

# The 2 Chome Times 平成28年12月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO223.

2016・12・25.

発行 神戸三宮センター街 2 丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス12月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>

2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

## ★ライトアップについて学びました

12月6日(火)にファーストと街創り協議会との合同でのライトアップについての勉強会が開かれました。講師は2丁目のナイトミュージアムでもお世話になった(株)LEM空間工房の代表取締役の長町志穂先生です。勉強会のタイトルは「パブリックライティング 激変する世界の夜間空間」でした。現在の照明デ



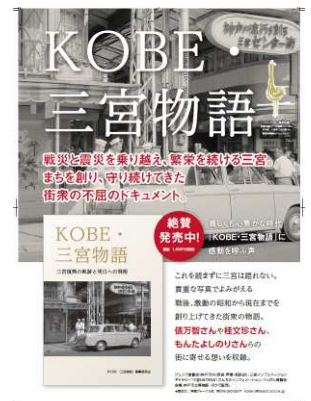
ザイナーの仕事は主に三点あり、①「新しい物をより魅力的に」 ②「古い物を再生する」 ③「人の行為を創り出す」というものだそうです。以前の照明はポールを立て、その先に電球を付けてそれで終わりというものでした。そのため明るさの基準が何ルクスと定められていて、その基準をたとえ満たしていても景観は薄暗くしか見えなかった。電球ばかりが目立って建物には光が届かないという結果になるというものです。それが欧米は主流で建物などの鉛直面を照らすことにより、建物を含めた景観が明るく見えるだけではなく、より魅力的に見えるということなのです。もちろんLED照明の開発成功が大いなる技術的進歩だったことは言うまでもありません。つまり小さな器具が使える、メンテナンスが容易なため、今までは困難だった個所にも照明器具を取り付けることができるようになり、さらに光の点滅や強弱がコントロールでき、自由な色彩を取り入れることも可能です。こうした技術の進歩と照明のコンセプトの変化により、街創りでの照明には「色温度の統一」、「光をデザイン」、「樹木が主役」の三要素が重要になって来ているそうです。幸いなことに神戸市では官民協力のもと、「光のマスタープラン」で総合的に街の照明を進めて行く方向になっています。これからもこの動きを加速させて、美しい光で充ちあふれた街を創っていきたいですね。



このこと。もちろんLED照明の開発成功が大いなる技術的進歩だったことは言うまでもありません。つまり小さな器具が使える、メンテナンスが容易なため、今までは困難だった個所にも照明器具を取り付けることができるようになり、さらに光の点滅や強弱がコントロールでき、自由な色彩を取り入れることも可能です。こうした技術の進歩と照明のコンセプトの変化により、街創りでの照明には「色温度の統一」、「光をデザイン」、「樹木が主役」の三要素が重要になって来ているそうです。幸いなことに神戸市では官民協力のもと、「光のマスタープラン」で総合的に街の照明を進めて行く方向になっています。これからもこの動きを加速させて、美しい光で充ちあふれた街を創っていきたいですね。

## ★絶賛発売中！『KOBE・三宮物語』～三宮復興の軌跡と明日への飛翔～

「KOBE 三宮・ひと街創り協議会」が、三宮センター街商店街振興組合結成70年を迎えた節目に、戦後から阪神・淡路大震災を経た三宮の復興再建の軌跡をまとめた記念誌『KOBE・三宮物語』を発行しました。より親しまれる読み物にと、歴史の流れの中に人間の群像をドラマチックに描きながら、当時の写真と共に掲載。俵万智さん、桂文珍さん、もんたよしのりさんら、ゆかりの著名人による三宮への想いも紹介されています。「戦後の復興期」「日本経済の成長期」「華やかなポートピア'81の時代」「阪神・淡路大震災」「新世紀を迎えた街の現在と将来」という視点で三宮を見つめ、街を守り続けてきた三宮街衆の不屈のドキュメントです。ジュンク堂書店(神戸市内・西宮・芦屋・姫路店)、三宮インフォメーションギャラリー「三宮HATENA」、さんちかインフォメーション、べっぴん博覧会会場、神戸市立博物館 ほかで販売。



頒価 1,400円(税別)。

問合せ 神港ジャーナル社 ☎078-392-5577 [kobe-c@beach.ocn.ne.jp](mailto:kobe-c@beach.ocn.ne.jp)

## ★今年も一年間、美化活動に御協力ありがとうございました！

今年最後の美化活動がいつもの様に第三火曜日の20日に行われました。総勢で40名余りと、大勢の方に参加して頂きました。いつも組合員の皆様に多大なる御協力を頂いており、心から感謝申し上げます。清掃業者に丸投げをした第三者によるものではなく、街の当事者である私達自身がこの美化活動を進める事に意義があり、意味があります。それは業者にお支払いをする予算をケチっているのではなく、私達の心意気を内外の方達にお示しすると同時に、私達の街を愛する心も持って頂きたいからです。もちろんストリートミュージアムを来街者の方々に気持ち良くご覧になって頂くという大きな意味も含まれています。そして来年も内外から多くの方々が来街されます。美しい私達の街を御見せしたいですね。来年も皆様の御協力を是非お願いいたします。



## ★ありがとうございました含羞の人

さる11月26日、神戸地下街株式会社 河合修様のご逝去されました。河合様は1973年（昭和48年）、さんちかタウンがオープンしてから7年程経った時に入社され、以来40年以上に亘っていつも神戸三宮・さんちかタウンと神戸の事を考えて来られました。体は大きくて顔はこわもて、しかしながら神経が細かく様々な事柄に細かい配慮をされ、しかもとっても恥ずかしがり屋で愛すべき人柄でした。そのため何か問題が起こった時にも「河合さんならば何とかしてくれるはず」と皆様からの信頼感も絶大で、常務室にはいつも河合さんを慕う人々がおられるといった光景をよく目にしました。所謂親分肌で本当に面倒見の良い方でした。心よりご冥福を申し上げます。また会いましょう。



## ★掲載されました

神戸公式観光サイト「フィール神戸」<http://www.feel-kobe.jp/2>に2丁目のナイトミュージアムが取り上げられました。「イベント一覧を観る」をクリックして頂き、3ページ目です。そこには「三宮センター街2丁目ではアートストリート構想の一環として、街全体をミュージアムと考え、ストリート



**Feel KOBE**  
神戸公式観光サイト

ミュージアムの名称のもと、毎年1つ、路面に全国の作家の作品11体を収蔵し、来街されるお客さまに楽しんで頂いています。夜間もストリートミュージアムを楽しんで頂けるように、アーケードにLEDムービングライト照明を常設し、光と音楽の演出を愉しんで頂く、「ナイトミュージアム」をオープンしました」と説明され、写真も掲載されています。是非一度ご覧ください。



掲載された写真の一枚

## ★編集後記

早いものでこのタイムズも今年の最終号となりました。今年を表す一文字の漢字は「金」でしたが、皆様の一年はどうだったでしょうか。今年はおリオオリンピックのような華やかな時もありましたが、世界情勢を見てみると必ずしもそういった雰囲気ではなく、むしろ強い個性のある指導者に人気が集まり、台頭しており、不安感すら感じます。その不安感を払しょくはできなくても、私達にできることはぶれずに目の前の仕事を誠実にこなしていくことだけです。来年の街創りもまたぶれることなく、着実に一步一步進めて行くことが私達に与えられた責務だと考えています。ストリートミュージアムも充実してきましたが、これも皆様、一人一人の日頃からの御協力があればこそ心から感謝しております。来年もこれまでと同様、「人にやさしく」、「美しく安全な」街を実現するべく皆様の御理解、御協力を切にお願い申し上げます。一年間、御愛読ありがとうございました。



どうぞ良いお年をお迎え下さい。